

# 平成28年社会生活基本調査結果

—生活行動に関する結果の概要—

平成29年7月14日  
鳥取県地域振興部統計課

社会生活基本調査は、総務省統計局が国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について、5年ごとに調査するもので、平成28年10月20日現在で実施した「平成28年社会生活基本調査」のうち「生活行動に関する結果」（10歳以上の国民の5つの生活行動に関する結果）が平成29年7月14日に公表されました。

## 鳥取県の結果概要

スポーツ、趣味・娯楽、旅行・行楽の行動者率は、前回（平成23年）に比べ上昇し、特にスポーツの上昇幅が全国に比べても大きかった。

ボランティア活動の行動者率は、前回に比べて低下したものの、全国に比べると以前として高く、種類別にみると「まちづくりのための活動」が全国第3位となった。

区分		学習・自己啓発・訓練	ボランティア活動		スポーツ	趣味・娯楽	旅行・行楽
				まちづくりのための活動			
鳥取県	H23	31.5%	33.9%	18.0%	58.5%	80.6%	68.4%
	H28	31.3%	32.2%	18.4%	65.2%	83.1%	68.7%
	増減	-0.2	-1.7	0.4	6.7	2.5	0.3
全国	H23	35.2%	26.3%	10.9%	63.0%	84.8%	73.2%
	H28	36.9%	26.0%	11.3%	68.8%	87.0%	73.5%
	増減	1.7	-0.3	0.4	5.8	2.2	0.3

### 1 学習・自己啓発・訓練

行動者率は31.3%で前回より0.2ポイント低下し、全国平均より5.6ポイント低く、全国第35位（前回第25位）。種類別では「パソコンなどの情報処理」に次いで、「家政・家事」が高かった。

### 2 ボランティア活動

行動者率は32.2%で前回より1.7ポイント低下したが、全国平均より6.2ポイント高く、全国第9位（前回第4位）で、最も行動者率の高い「まちづくりのための活動」は18.4%で、全国の11.3%を大きく上回る。（全国第3位）

### 3 スポーツ

行動者率は65.2%で前回より6.7ポイント上昇したが、全国平均より3.6ポイント低く、全国第33位（前回第36位）。種類別では「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで、「器具を使ったトレーニング」が高かった。

### 4 趣味・娯楽

行動者率は83.1%で前回より2.5ポイント上昇したが、全国平均より3.9ポイント低く、全国第39位（前回第35位）。種類別では「DVDなどによる映画鑑賞」が最も高かった。

### 5 旅行・行楽

行動者率は68.7%で前回より0.3ポイント上昇したが、全国平均より4.8ポイント低く、全国第31位（前回第33位）。種類別では「行楽（日帰り）」が最も高かった。

## 用語の解説

行動者率・・・10歳以上人口に占める過去1年間に該当する種類の活動を行った人の割合（%）

※ 鳥取県の10歳以上推計人口は501千人

## 今後の公表予定

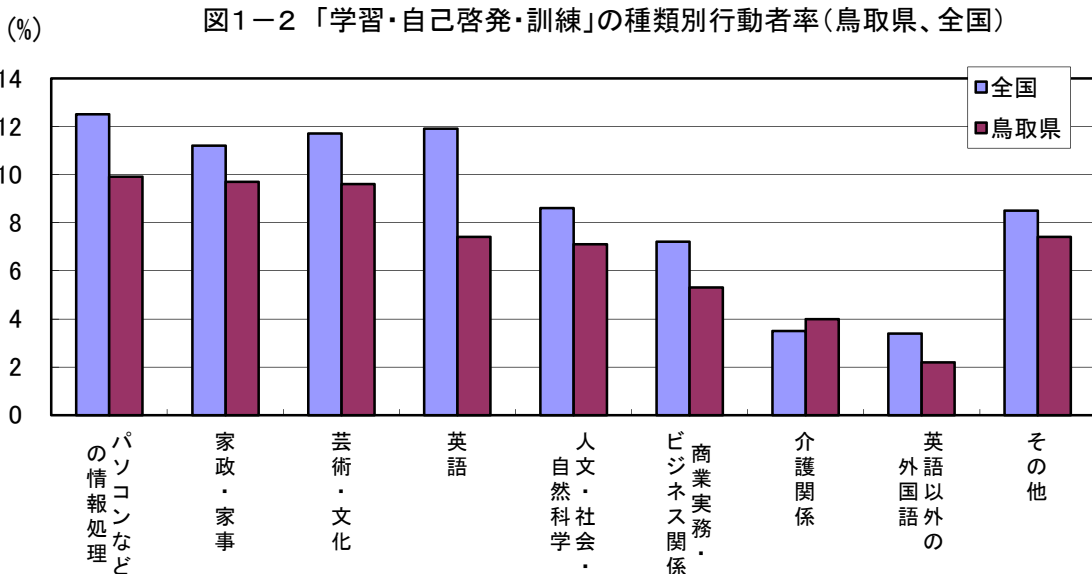
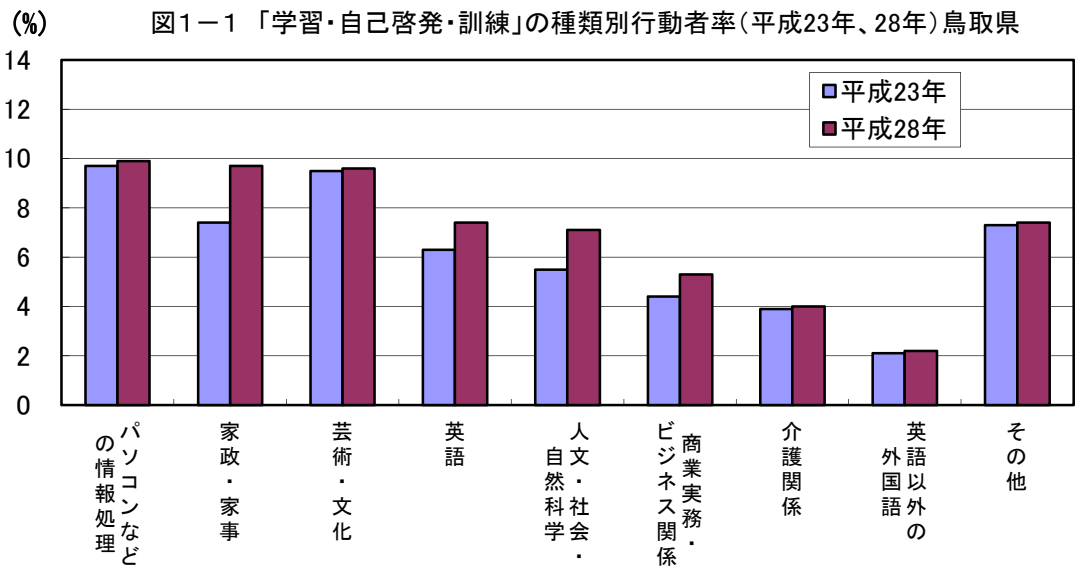
男女別、年齢別を含む「生活行動に関する結果」（平成29年7月公表予定）

生活時間の配分に関する結果（平成29年9月及び12月公表予定）

# 1 学習・自己啓発・訓練

行動者率は31.3%で前回より低下しているが、「家政・家事」が上昇している。

- (1) 過去1年間に何らかの「学習・自己啓発・訓練」を行った10歳以上人口に占める割合（行動者率）は31.3%となっており、前回と比較すると0.2ポイント低下している。
- (2) 行動者率の種類別を前回と比較してみると、全ての種類で上昇している。  
「パソコンなどの情報処理」が9.9%と最も高く、次いで「家政・家事」の9.7%、「芸術・文化」の9.6%となっており。「家政・家事」は2.3ポイント上昇している。
- (3) 全国平均（36.9%）と比較すると、5.6ポイント低くなっており、全国で35位（前回25位）で、種類別では「介護関係」は全国を上回っている。



## 2 ボランティア活動

行動者率は32.2%で前回より低下しているが、全国平均を上回り、依然として行動者率が高い。

- (1) 過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った10歳以上人口に占める割合（行動者率）は32.2%となっており、前回と比較すると1.7ポイント低下している。
- (2) 行動者率を種類別に前回と比較してみると、「まちづくりのための活動」、「安全な生活のための活動」「高齢者を対象とした活動」が上昇している。
- (3) 全国平均（26.0%）と比較すると、6.2ポイント高くなっており、全国で9位となっている。（前回4位）
- (4) 行動者率を種類別に全国と比較すると、「災害に関係した活動」、「国際協力に関係した活動」、「障害者を対象とした活動」を除くすべての種類で全国平均を上回っている。

図2-1 「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成23年、28年)鳥取県

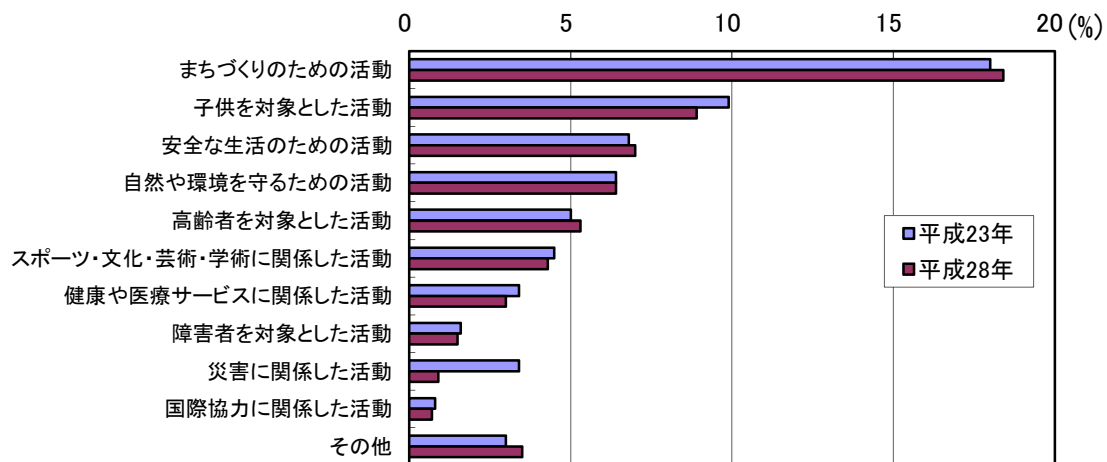
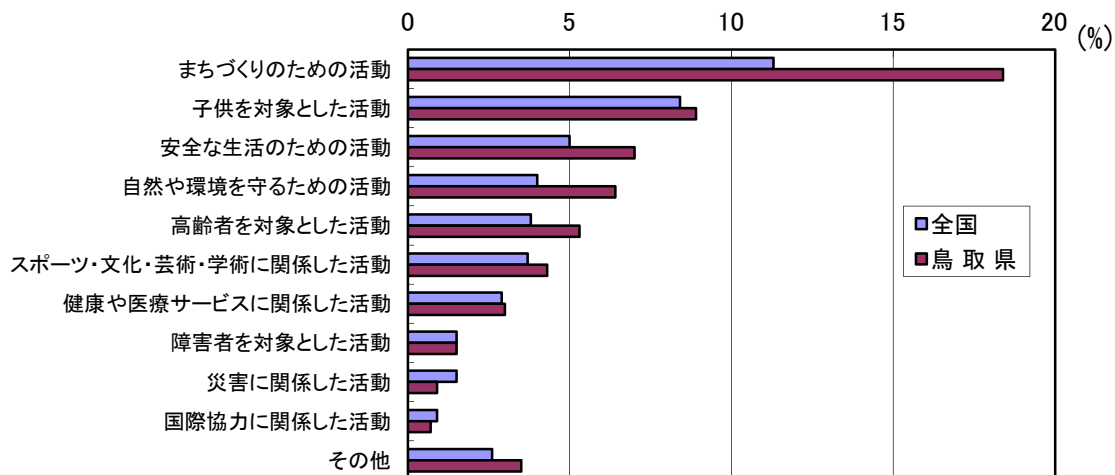


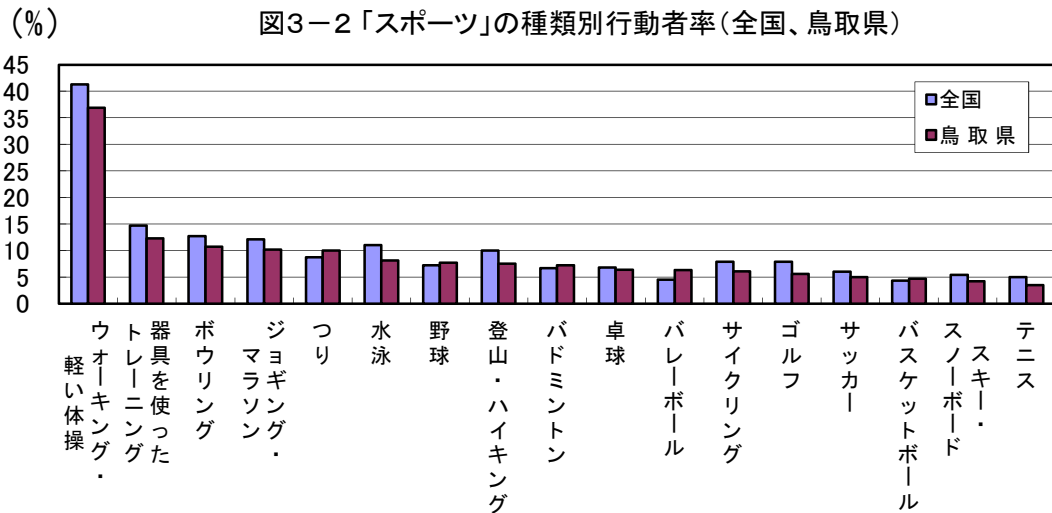
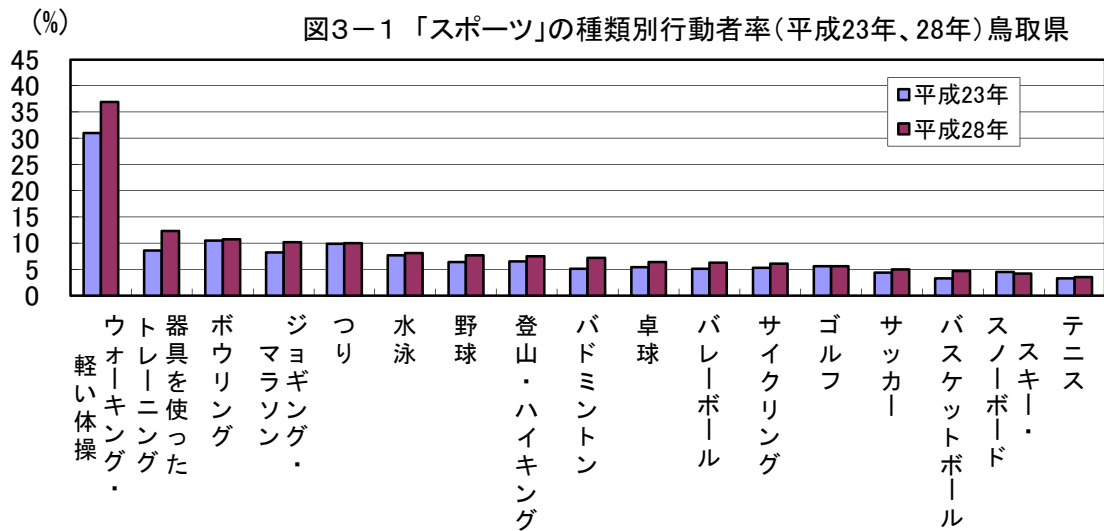
図2-2 「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成28年:全国、鳥取県)



### 3 スポーツ

行動者率は65.2%で前回より上昇。「ウォーキング・軽い体操」は全国とともに最も高い。

- (1) 過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った10歳以上人口に占める割合（行動者率）は65.2%となっており、前回と比較すると6.7ポイント上昇している。
- (2) 行動者率を種類別に前回と比較してみると、全体的に上昇し、なかでも「ウォーキング・軽い体操」が5.9ポイント上昇し、次いで「器具を使ったトレーニング」も4.2ポイント上昇している。
- (3) 全国平均（68.8%）と比較すると、3.6ポイント低くなっており、全国で33位となっている。（前回36位）

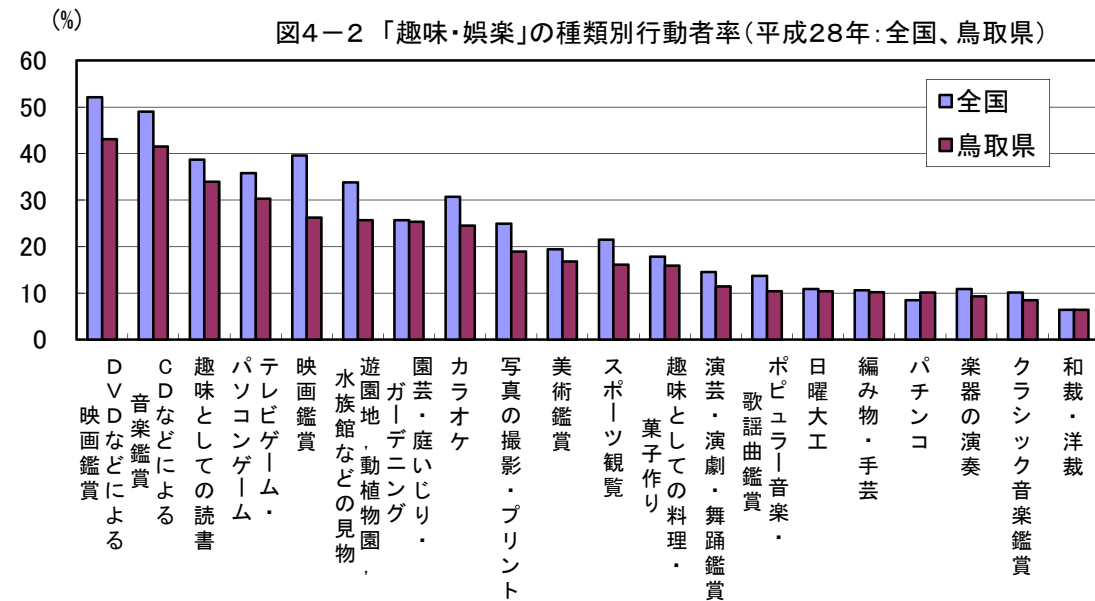
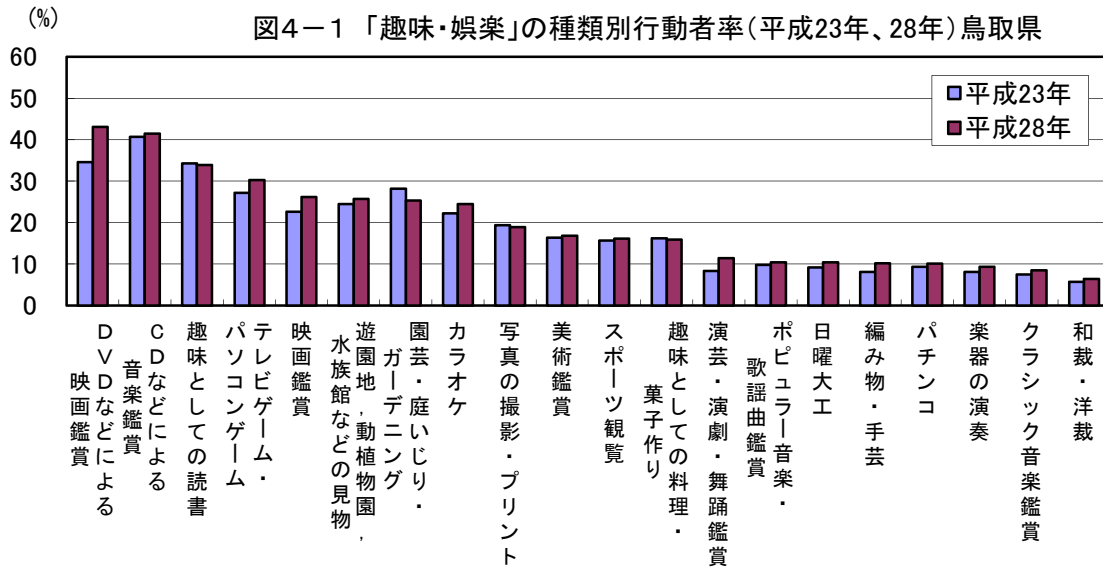


注) 行動者率が3%以上の種類を表章。

#### 4 趣味・娯楽

行動者率は83.1%で前回より上昇。最も高いのは「DVDなどによる映画鑑賞」

- (1) 過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った10歳以上人口に占める割合（行動者率）は83.1%となっており、前回と比較すると2.5ポイント上昇している。
- (2) 行動者率を種類別に前回と比較してみると、前回2位の「DVDなどによる映画鑑賞」が8.5ポイント上昇し43.1%となり、最も高くなっている。
- (3) 全国平均（87.0%）と比較すると、3.9ポイント低くなっており、全国で39位となっている。（前回35位）



注) 行動者率が上位20の種類を表章。

## 5 旅行・行楽

行動者率が最も高いのは「行楽（日帰り）」

- (1) 過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った10歳以上人口に占める割合（行動者率）は68.7%となっており、前回と比較すると0.3ポイント上昇している。
- (2) 行動者率を種類別にみると、「行楽（日帰り）」が56.2%、観光旅行では国内が39.7%、海外が3.1%となっている。これを前回と比較すると、「観光旅行（海外）」を除き、すべての種類で上昇している。
- (3) 全国平均（73.5%）と比較すると、4.8ポイント低くなっており、全国で31位となっている。（前回33位）

図5-1 「旅行・行楽」の種類別行動者率(平成23年、28年)鳥取県

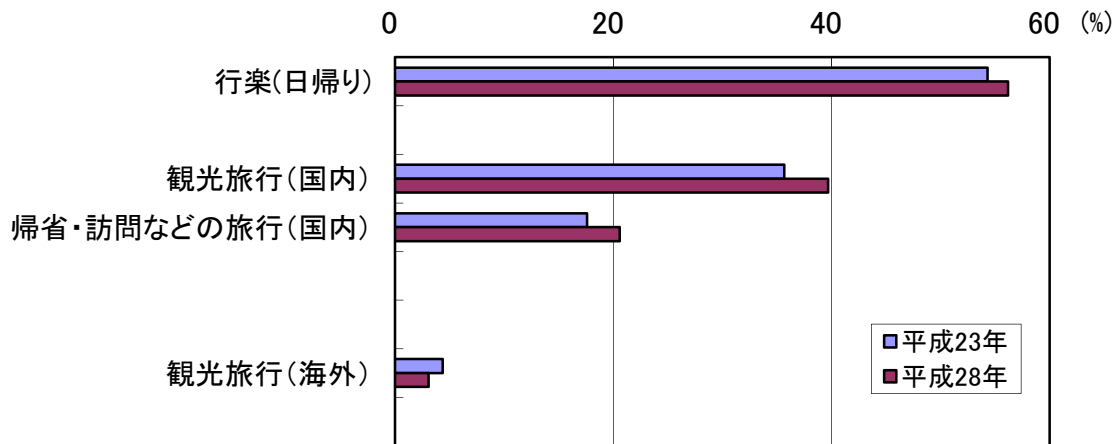


図5-2 「旅行・行楽」の種類別行動者率(鳥取県、全国)

